

拠点

拠点1 子どもの生活研究所（療育）

1. 運営方針・目標

東京都・世田谷地域で生活をしている障害児・者の自己実現を支援し、福祉の向上に貢献すべく子どもの生活研究所の事業所が一体となった運営を行う。

社会福祉法人嬉泉の基幹となる療育・保育の実践学習の場として、受容的交流理論の継承・発展に取り組み、職員の質的向上務める。また職員研修として積極的に法人内の事業所と交流を展開していく。人材育成については、キャリアパスと連動させながら、各事業所の機能を踏まえた育成を行うとともに、スーパービジョン体制を強化する。

めばえ学園、おおらか学園、東京都発達障害者支援センター、さらに保育所のすこやか園などの事業所の実質的な運営を有機的に連携させた「クローバーシステム」を基盤として、子どもの生活研究所こぐま学園、特定相談支援事業所との関係も含めて法人内の他の事業との協力体制を図りながら行う。子どもの生活研究所（療育）では、これまで同様に個別的な支援を実施していくとともに、利用者の地域での育ち・生活を支える視点より地域の他の関係機関との連携を作り、利用者の自己実現・生活の向上に努めていく。

地域においては、社会福祉法人の責務として、世田谷区の世田谷区社会福祉協議会が設置する「社会福祉法人地域公益活動協議会」に参画し、地域における公益的な取り組みを実施していくが、世田谷区内で中心的に事業展開をし、さらに法人本部のある子どもの生活研究所が中心的な役割を担うよう、地域で子どもの生活研究所（嬉泉）の認知・理解を進めていくために多様な機会をとらえて取り組む運営をする。またそれらの活動を通して、経営の安定を図るため利用者確保に努めるべく工夫をする。

- ① 子どもの生活研究所として、こぐま学園と障害者相談支援事業所を運営する。こぐま学園は社会福祉法人嬉泉独自の個別的支援事業として継続していくが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止を優先させたうえでの運営を行う。さらに、運営体制の整備を行う。特に他事業所との連携をより一層深めると共に職員研修機能の充実をはかっていく。またこぐま学園卒業生を対象にフォローアップを実施する。

相談支援事業所は、引き続き、めばえ学園、おおらか学園、法人内他事業所の利用者の他、OB や外部の利用者等の受け入れを行っていく。昨年度までは、兼任の管理者1名、相談支援専門員1名の体制で運営を行ってきた。その中で、サービス等利用計画の内容およびモニタリング等について、利用契約者が承諾する形でのサービスの提供、またそのチェック機能が不十分な面があった。上記を踏まえ、今年度は子どもの生活研究所療育部門において、同じく相談業務を担う東京都発達障害者支援センターTOSCAと一体化する形で運営を行う。その中で、相談業務におけるサービス提供の質向上および内部のチェック体制を強化し、利用契約者への安定且つ充実したサービス提供に努める。

さらに世田谷区自立支援協議会へ参加し、世田谷区基幹相談支援センターおよび他機関との連携を密にする。その中で地域の課題等を把握しながら、障害児者支援の体制づくりに協力していくと同時に、相談業務に活かしていく。

また、相談支援専門員は、研修として東京都発達障害者支援センターの相談業務を担当する。ケースを介してスーパービジョンを受ける中でスキルアップをはかり、より良い福祉サービスの提供につなげる。

- ② めばえ学園は、世田谷区に二か所の児童発達支援センターの一つとしての機能を充実させる。年々幼稚園や保育園の併用利用も増加し、利用の仕方も多岐に渡る。児童発達支援センターとして、早期療育となる乳幼児期の毎日利用という療育形態での継続支援を経て、その後幼稚園・保育園への移行支援と繋がる形が定着している。引き続き地域に浸透させて低年齢児の継続支援の利用の拡充を図ると共に、より多くの児童・保護者、連携の保育所・幼稚園が利用するよう機能を充実させ、運営の安定につなげていく。また、地域支援・地域連携の取り組みがまだ十分に出来ていない。地域の障害児施設がより密に意見交換や情報共有が出来る場として、「障害児グループ連絡協議会」をめばえ学園が中心となり立ち上げ活動を始

めていることから、この活動を軌道に乗せて、関係機関との連携・ネットワークの構築等にしっかりと繋げていく。また地域の子育て家庭に向けた療育講座等も企画していく。

- ③ おおらか学園は、世田谷地域で社会生活を行っている利用者の支援を行っているが、利用者が重度化と高齢化をしていることもあり、家庭、地域の福祉資源、地方の福祉資源、病院などと共同して絶え間のない支援を必要としているニーズに臨機応変に対応しながらのサービス提供を引き続き行っていく。

昨年度は、利用率が100パーセント上回り安定した運営状態にあるため、今年度も引き続き同様の運営を行う。近年、家族の病気や高齢化の対応として、将来の生活の安定のために、移動支援や短期入所の地域の福祉サービスの利用をすすめているが、いまだ利用に至っていない家庭もあるため、相談支援事業所と連携して引き続き地域資源の活用をはかる。

職員研修に関しては、昨年度は感染症の社会的な状況で外部の研修をすすめることが困難であったため、オンライン等の活用をして、できるだけ外部の情報を取り入れて自らの支援や運営を振り返りながら研鑽に努めるような方向で資質の向上に努めたい。

- ④ 東京都発達障害者支援センターTOSCAは、東京都からの委託事業として発達障害者支援センター運営事業、ペアレントメンター養成・派遣事業、発達障害者支援体制整備推進事業を柱に事業を実施する。

また今年度は、相談支援事業所・子どもの生活研究所と一体化した形で運営を行う。

センター運営事業では発達障害者地域支援マネージャーを配置し、東京都内の各自治体の行政および支援機関における発達障害者支援の現状と課題を把握しつつ、支援体制整備への協力を行う。相談業務においては、東京都発達障害者支援センターで担うケースと自治体へつなげるケースを見直し、整理する。その上で、相談件数を軽減し地域支援を強化する。

ペアレントメンター養成・派遣事業では、ペアレントメンターコーディネーターを配置し、本事業の各自治体への移行促進を目指して、引き続き啓発に努める。

発達障害者支援体制整備推進事業では、発達障害者相談支援スキルアップ研修および成人期支援力向上研修の企画内容を再検討する。特に前者研修の一部については、法人における実践を広報する機会とし、これを通して他機関および支援者とのより良い関係づくりを目指すと同時に、法人内職員のスキルアップをはかる。また法人内の他事業所と協働し、東京都内の行政および支援機関の支援者支援に努める。

そして職員の育成については、職員全員が相談業務に携わり、ケースを担当する、他職員の相談に陪席する等の中でスーパービジョンを受け、スキルアップをはかる。またより専門性を必要とするスキルについては、外部研修および法人内の他事業所との交流研修によって、専門技術の保持、補完、向上をはかる。

2. 月間・年間予定

※年間行事等実施計画を添付

3. 職員体制

※組織図を添付

4. 職員研修

各事業所の特性を踏まえて、本法人が実施する以下の研修に積極的に参加する他、関係諸機関が実施する外部研修への参加も積極的に行う。また事業所内でのスーパービジョンを丁寧に実施する。

- ①療育合宿研修
- ②職層別職員研修
- ③本法人およびトスカ主催セミナー・研修への参加
- ④事業所間職員交流研修
- ⑤事務研修

- ⑥地域福祉活動 自立支援協議会・地域リハビリテーション実務者連絡会(リハネット)・せたがや福社區民学会での事例発表
- ⑦全日本自閉症支援者協会、東京都社会福祉協議会、特別支援教育研究所への研修協力
- ⑧外部の様々な研修

5. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

経年劣化により、ドアなどの建具や錠前の不具合が各所に出ているため、交換など含めて随時修繕をしていく。また、室内の壁のペンキも劣化してきており、職員でできるところは自前で行いながら、塗り直しをすすめる。

別紙(事業計画書関係)

年間行事実施計画(子どもの生活研究所[療育・保育])

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理 衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月				入園式 誕生日会月1回		職員会議週1回・子研 厨房会議・看護師会月1回		防災訓練 消火訓練		衛生委員会		経営会議 クローバー運営会
5月								防災訓練 消火訓練		衛生委員会		経営会議 クローバ運営会
6月								防災訓練 消火訓練		健康診断・内科健診 衛生委員会		園長会 クローバー運営会子研委 員会
7月		施設内宿泊体験						防災訓練 消火訓練		健康診断 衛生委員会		経営会議 クローバー運営会
8月		施設内宿泊体験				夏季療育合宿		防災訓練 消火訓練		健康診断 衛生委員会		経営会議 クローバー運営会
9月								防災訓練 消火訓練		健康診断 衛生委員会		理事会、経営会議 クローバー運営会
10月		秋祭り 施設内宿泊体験						防災訓練 消火訓練		健康診断 衛生委員会 内科健診		評議員会、経営会議 クローバー運営会
11月		嬉泉バザー						防災訓練 消火訓練		健康診断 衛生委員会		経営会議 クローバー運営会
12月		クリスマス会 施設内宿泊体験						防災訓練 消火訓練		衛生委員会		理事会・評議員会 経営会議
1月		もちつき 施設内宿泊体験						防災訓練 消火訓練		衛生委員会		経営会議 クローバ運営会
2月		節分						防災訓練 消火訓練		衛生委員会		経営会議 クローバー運営会
3月		ひなまつり 卒業遠足		卒園式 施設内宿泊				防災訓練 消火訓練		衛生委員会		理事会・経営会議、クロー バー運営会

事業拠点組織図(子どもの生活研究所[療育・保育])



